

注3

**大学番号：062**

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

**届出**

足利工業大学 工学部 創生工学科

注2

**【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書  
(抜粋)**

学校法人 足利工業大学  
平成23年5月1日現在

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 足利工業大学

## (2) 大学名

足利工業大学

## (3) 大学の位置

〒326-8558  
栃木県足利市大前町268番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(カヒラゴウ) 岡平悟朗 (平成10年12月)		
学長	(ウヤマ イクミ) 牛山泉 (平成20年5月)		
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)  
平成23年度に報告する内容 → (23)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 創生工学科 学士(工学)	4年	440人	— 年次人	1,760人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	440 (—) [—]		440 (—) [—]		440 (—) [—]		440 (—) [—]		0.69倍 編入者は全員 3年次に編入	
志願者数	538 (11) [36]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	538 (10) [36]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	494 (10) [31]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	305 (- (9)) [25]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.69									

- (注) ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 25 ] 305	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	/		/		/		[ ]	[ ]	
計	[ 25 ] 305	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

(注) ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ 25 ] 305	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 305人	
	(主な退学理由)		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	(主な退学理由)		
平成25年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	うち平成25年度入学者 人	うち平成25年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 創生工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
建学の理念に 関わる科目	建学の理念と聖徳太子	1後 4前		2							非常勤講師の都合により後期に開講(23)
	人間と宗教	1前・後 4前		2							全学生に受講の機会を与えるため後期にも開講(23)
	暮らしのなかの宗教	2前 4後		2							配当年次を変更(23)
	仏教の源流といま	2前 4後		2							配当年次を変更(23)
	ヒューマン・エナジー入門	1前		2		1					
	地方の大学と社会	1後		2		1					
人文・社会科学	科学史	1前		2			1				
	哲学	1後		2			1				
	文学Ⅰ	1前		2			1				
	文学Ⅱ	1後		2			1				
	心理学Ⅰ	1前		2		1					兼任講師就任辞退に伴う担当者変更(23)
	心理学Ⅱ	1後		2		1	1				兼任講師就任辞退に伴う担当者変更(23)
	法学Ⅰ	1前		2			1				
	法学Ⅱ	1後		2			1				
	文化論Ⅰ	1前		2			1				
	文化論Ⅱ	1後		2			1				
	教育学Ⅰ	1前		2		1					
	教育学Ⅱ	1後		2		1					
	足利史Ⅰ	1前		2							
足利史Ⅱ	1後		2								
ゼミナール(人文・社会科学)	1・2 前・後		1			1	4				H23年度は後期1講座のみ(23)
人文・社会科学総合A	1・2・3 休		2			2	1				内容を幅広くするために担当者数を増加(23)
人文・社会科学総合B	1・2・3 休		2				3				
教養科目	数理演習	1前		2		3	9	1			クラス数の減少による(23)
	関数入門	1前		2		1	4	1			クラス数の減少による(23)
	数学基礎	1後		2		1	2	1			教授昇格による(23)
	総合科学実験Ⅰ	1前		2		1	3	2	5	4	受講対象者数の減少による(23) 講師数は、准教授昇格による(23)
	総合科学実験Ⅱ	1後		2		2	2	5	4		受講対象者数の減少による(23)
	数学Ⅰ	1前・後 4前		2		1	3	4	4		数学系科目の習熟度別カリキュラムの効果を高めるため、後期にも開講する(23) 担当者数の減少は、クラス数の減少による(23)
	数学Ⅱ	1後		2		1	0	4	1		教授数は昇格による(23) 准教授数の減少はクラス数の減少による(23)
	数学Ⅲ	2前		2			3				
	数学Ⅳ	2後		2		1	1	1			
	物理学Ⅰ	1前・後 4前		2		2	1	4	3		物理学系科目の習熟度別カリキュラムの効果を高めるため、後期にも開講する(23) 担当者数の減少はクラス数の減少による(23)
物理学Ⅱ	1後		2		1		4			担当者変更(23)	
自然科学											

2 授業科目の概要

<工学部 創生工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	化学Ⅰ	1後		2		1	3 2		4			講師から准教授に昇格(23)
	化学Ⅱ	2前		2			2	1				
	ゼミナール(自然科学)	1・2 前・後		1		1 2	1 8		1			受講対象者数の減少による(23)
	自然科学A	1・2・3 休		1		4			1			担当者変更(23)
	自然科学B	1・2・3 休		1			1					
	自然科学C	1・2・3 休		1		1	4					准教授から教授に昇格(23)
	自然科学D	1・2・3 休		1		1	4					担当者変更(23)
外国語	英語Ⅰ	1前・後 4前		2			2 4		1			より少人数化を進めるため専任教員数を増加し、単位未修得者のために後期にも開講する(23)
	英語Ⅱ	1後		2			1	1				
	英語Ⅲ	2前		2			1	1				
	英語Ⅳ	2後		2			1	1				
	英会話	2前		2								
	ドイツ語Ⅰ	2前		2			1					
	ドイツ語Ⅱ	2後		2			1					
	中国語Ⅰ	2前		2								
	中国語Ⅱ	2後		2								
	韓国語Ⅰ	2前		2								
	韓国語Ⅱ	2後		2								
	日本語Ⅰ	1前		2		1						専任の中国人教授を担当者に加え、中国からの留学生への日本語教育を充実させた(23)
	日本語Ⅱ	1後		2		1						
	日本語Ⅲ	2前		2								
	日本語Ⅳ	2後		2								
	ゼミナール(外国語)	1・2 前・後		1			2		1			H23年度は後期1講座のみ(23)
健康・スポーツ科学	英語A	1・2・3 休		1			1					
	英語B	1・2・3 休		1			1					
	健康スポーツⅠ	1前		1		1 2	2					教授1名依願退職(23)
	健康スポーツⅡ	1後		1		1 2	2					教授1名依願退職(23)
	健康スポーツⅢ	2前		1		2	2					
	健康スポーツⅣ	2後		1		2	2					
	生涯スポーツⅠ	3前		1		2	2					
生涯スポーツⅡ	3後		1		2	2						
シーズンスポーツ	1・2・3・4 休		1			1						
研修外	国際文化体験Ⅰ	1・2・3・4 休		2		1						
	国際文化体験Ⅱ	1・2・3・4 休		2		1						
教養ゼミ	文章表現Ⅰ	1後		1		7 4	16 44	2 3				文章表現Ⅰの担当者編成を全学的に見直した(23)
	文章表現Ⅱ	2前		1								
	文章表現Ⅲ	2後		1								
	自己表現Ⅰ	3前		1								
	自己表現Ⅱ	3後		1								
小計(73科目)	-		0	125	0	9 8	16 16	2 3	0	0		教授昇格1・准教授昇格1。教授1・准教授2退職。新規准教授1(23)

2 授業科目の概要

<工学部 創生工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学科専門科目 (I群)	環境工学概論	1前		2		1							
	エネルギー工学概論	1後		2		1							
	脳科学概論	1前		2		1							
	生命システム学入門	1後		2		1							
	情報システムデザイン概論 I	1前		2		1							
	情報システムデザイン概論 II	1後		2		3							
	機械・電気概論 I	1前		2		5 3	4					オムニバス形式に変更(23) オムニバス形式に変更し、学系全般の内容になるよう担当者数を増加した(23)	
	機械・電気概論 II	1後		2		6 3	2					オムニバス形式に変更し、学系全般の内容になるよう担当者数を増加した(23)	
	建築・社会基盤概論 I	1前		2		3						オムニバス形式に変更(23)	
	建築・社会基盤概論 II	1後		2		3						オムニバス形式に変更(23)	
	小計 (10科目)	-		0	20	0	18 12	6 0	0	0	0		
	専門教育科目 (II群)	フレッシュマンゼミ	1前		1		32 34	19 29	1 4		2		昇格及び担当者の再編による(23)
		コンピュータリテラシー	1前		2						1		
		コンピュータサイエンス入門	1後		2			2			1		
応用物理学 I		2前		2		1	3						
応用物理学 II		2後		2		1	3						
応用数学 I		3前		2		1	1	1					
応用数学 II		3後		2			3						
総合英語 I		2前		1			1	1					
総合英語 II		2後		1			1	1					
総合英語 III		3前		1			2						
総合英語 IV		3後		1			2						
技術者倫理		3後		2		1							
インターンシップ		2・3 休		2		5							
情報化社会と情報倫理		3後		2			1						
知的財産関係法規		4前		2			1						
課題研究		3後	2			30	26	2	2				
卒業研究A		4前	4			30	26	2	2				
卒業研究B		4後	4			30	26	2	2				
職業指導		3前			2	1							
情報と職業		3後			2	1							
小計 (20科目)	-		10	25	4	34 32	29 36	3 5		2	0		
学系専門科目	自然エネルギー・環境学系												
	自然エネルギー概論	2前		2		3	1						
	環境とライフスタイル	2前		2			1						
	自然エネルギーと適正技術	2後		2						1			
	自然エネルギー設計法A	2前		2		1							
	自然エネルギー設計法B	2後		2		1							
	自然エネルギー・環境実習A	2後		2		1	2						
	自然エネルギー・環境実習B	3前		2		1	1			1			
	自然エネルギー・環境実習C	3後		2		2	1			1			
	熱工学 I	2前		2			1						
	熱工学 II	2後		2			1						
	熱機関	3前		2			1						
	省エネルギー	2後		2		1							
	太陽エネルギー	3前		2		1							
風力エネルギー	3前		2						1				
バイオエネルギー	3後		2			1							



## 2 授業科目の概要

<工学部 創生工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	自然エネルギー特別講義Ⅰ	3後		2					1			
	自然エネルギー特別講義Ⅱ	4前		2								
学系専門科目	環境法規・法令	3前		2			1					
	環境保全Ⅰ	3前		2								
	環境保全Ⅱ	3後		2		1	1					
	環境機能性材料	3前		2		1						
	エコトランスポーション	3後		2		1						
	花火と環境	3後		2			1					
	エネルギー環境と歴史	3後		2			1					
	エネルギー環境と倫理	4前		2		1						
	小計 (25科目)	-		0	50	0	5	4	0	1	0	
	生命システム学系											
専門教育科目	基礎生物学	1後		2		1						
	脳と物質	2前		2				1				
	脳のハードウェア	2後		2		1						
	生化学実験	2前		2				1				
	分子生物学	2後		2				1				
	睡眠科学	2後		2		1						
	睡眠環境学	3前		2				1				
	認知心理学Ⅰ	2後		2		1						
	認知心理学Ⅱ	3前		2		1						
	社会とメディア	2前		2			1					
	社会情報学	2後		2			1					
	マンマシンシステム	3後		2				1				
	生命倫理	2前		2			1					
	運動生理学	3後		2			1					
	生命システム学実習Ⅰ	2後		2		4	1	1				
	生命システム学実習Ⅱ	3前		2		3	1	1				
	デジタル信号処理	3前		2		1						
	臨床心理学Ⅰ	3後		2								
	臨床心理学Ⅱ	4前		2								
	産業心理学	3前		2				1				
	行動分析学Ⅰ	3前		2		1						
	行動分析学Ⅱ	3後		2		1						
	実験デザイン法	3前		2			1					
	実験デザイン演習	3後		1		1						
	多変量解析	3後		2		1						
	ブレインコンピュータインタフェイス	3後		2		1						
	生体計測	2前		2		1						
	生体制御論	4前		2		1						
	生命システム学論講	3前		1		4	1	1				
小計 (29科目)	-		0	56	0	4	4	2	0	0		
情報システムデザイン学系												
学系専門科目	システム工学	2前		2			1					
	OR	2後		2		1						
	確率・統計	2前		2		1						
	データ解析	2後		2			1					
	情報数学	2前		2			1					
	システム制御	2後		2		1						
	情報技術Ⅰ	2前		2		1	1					

## 2 授業科目の概要

〈工学部 創生工学科〉

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	情報技術Ⅱ	2後		2			1					
	創造性教育プロジェクトⅠ	2前		2		2	5		1			
	創造性教育プロジェクトⅡ	2後		2		2	5		1			
専門科目	創造性教育プロジェクトⅢ	3前		2		2	3					
	創造性教育プロジェクトⅣ	3後		2		2	3					
	情報システムデザイン基礎実習Ⅰ	2前		2		2	3					
	情報システムデザイン基礎実習Ⅱ	2後		2		2	3					
	情報システムデザイン応用実習Ⅰ	3前		2		2	5		1			
	情報システムデザイン応用実習Ⅱ	3後		2		2	5		1			
	情報通信ネットワーク	2後		2		1						
	離散システム	3前		2			1					
	デザインマネジメント	3後		2			1					
	マーケティングとデザイン	3後		2			1					
	品質工学	3前		2			1					
	データベース	3前		2			1					
	組込みシステム	2後		2			1					
	プロダクトデザイン	2後		2		1						
	システム最適化手法	3前		2		1						
	センサ工学	3前		2		1						
	情報セキュリティ	4前		2			1					
	環境マネジメントシステム	4前		2		1						
	シミュレーション	3後		2		1	1					
	MOT概論	4前		2		1						
	経営デザイン	4前		2								
	小計 (31科目)	-		0	62	0	6	10	0	1	0	
	教育科目	プログラミング基礎	2前		2			1		1		
		プログラミング応用	2後		2			1		1		
		アルゴリズムとデータ構造	2前		2			1				
		オペレーティングシステム	2後		2		1					
		ソフトウェア工学	3前		2			1				
		ネットワークプログラミング	3後		2		1					
		オブジェクト指向プログラミング	3前		2		1	1				
		知能情報システム	3後		2			1				
		CG	2前		2			1				
グラフィックプログラミング		2後		2		1	1					
Webデザイン		2前		2								
マルチメディアデザイン		2後		2			1					
デザイン論		3前		2			1					
ゲームプログラミング		3前		2			2		1			
感性科学とデザイン		3後		2			1					
コンピュータ造形法		3前		2		1						
画像処理		3後		2			1					
ロボットシステム		2前		2			1					
生産システム		2後		2		1						
メカトロニクス		2後		2			1					
コンピュータアーキテクチャ		2前		2			1					
ロボット創生学		3後		2			1					
材料計画とデザイン		3前		2		1						
応用システムデザイン		3後		2		1						
小計 (24科目)	-		0	48	0	4	7	0	1	0		
機械・電気工学系												

## 2 授業科目の概要

<工学部 創生工学科>

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学 系 専 門 科 目	製図基礎	1前		2		1	1				
	CAD基礎	1後		2		1	1				2クラス編成とし、担当教員数を増加した(23)
	機械・電気実験A	2前		2		4	4				
専 門 教 育 科 目	機械・電気実験B	2後		2		4	5				
	機械・電気実験C	3前		2		2	5				
	機械・電気実験D	3後		2		2	4				
	シーケンス制御 I	3前		2		1					
	シーケンス制御 II	3後		2		1					
	材料力学A	2前		2			1				
	材料力学B	2後		2			1				
	流体力学 I	2前		2		1					
	流体力学 II	2後		2		1					
	機構学	2後		2			1				
	金属材料基礎	2前		2		1					
	金属材料	2後		2			1				
	機械工作法	2前		2		1					
	機械要素	2後		2			1				
	切削加工	2後		2			1				
	JIS機械製図	2前		2		1	1				
	JIS機械製図応用	2後		2		1					
	機械力学A	3前		2			1				
	機械力学B	3後		2			1				
	流体機械	3後		2		1					
	自動車工学 I	3前		2							
	自動車工学 II	3後		2							
	非金属材料	3前		2					1		
	塑性加工	3前		2		1					
	精密加工	3後		2			1				
	機械設計	3前		2		1					
	工業CAD I	3後		2		1					
	工業CAD II	4前		2		1					
	機械設計応用	4前		2			2				
	アクチュエータ工学	3前		2			1				
	電気電子製図	2前		2							
	電気回路 I 及び演習	2前		3		1					
	デジタル回路	2後		2							
	基礎電子回路及び演習	3前		3		1					
	電気磁気学 I 及び演習	2前		3			2				
	過渡現象	2後		2		1					
	電気電子物性	2前		2		1					
	電気電子設計	3前		2							
	パワーエレクトロニクス	3後		2		1					
	学 系 専 門 科 目	半導体デバイス工学	3前		2		1				
		高電圧工学	3後		2			1			
		無線システム工学	3後		2		1				
		電力技術実習基礎	2前		2						
		電力技術実習応用	2後		2						
	小計 (47科目)	-		0	97	0	10	11	1	0	0
	コ ー	PC援用材料力学	2後		2		1				
		機械力学C	4前		2			1			

2 授業科目の概要

<工学部 創生工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	材料力学C	3前		2		1						
	材料強度学	3後		2		1						
	力学計測基礎	3前		2		1						
	3DCAD	2前		4		1						
	CAE基礎	2後		3		1						
専門教育科目	3D計測Ⅰ	2前		2		1						
	3D計測Ⅱ	2後		2								
	機械工作実習	2前		3		1						
	CAM実習	2後		3			1					
	GAD/CAMデザイン総合演習Ⅰ	3前		2		1	1					
	GAD/CAMデザイン総合演習Ⅱ	3後		2		2	1					
	CAE応用	3前		3		1						
	工業デザインⅠ	3後		2								
	工業デザインⅡ	4前		2								
	創作ゼミⅠ	2前		1		4	4					
	創作ゼミⅡ	2後		1		4	4					
	創作ゼミⅢ	3前		1		4	4					
	電気回路Ⅱ	2後		2			1					
	電子回路	3後		2		1						
	伝送回路	3後		2		1						
	電気磁気学Ⅱ	2後		2			1					
	電気電子計測	2後		2			1					
	発変電工学	3前		2			1					
	送配電工学	3後		2			1					
	電力系統工学	3後		2			1					
	電気法規・施設管理	3前		2		1						
	電気電子材料	3後		2		1						
	電気通信法規	3前		2		1						
	電磁波工学	4前		2			1					
	通信工学	4前		2		1						
	電力工学演習	3前		1								
	電気応用工学	4前		2								
	電気電子工学実験	4前		2			3					
	小計 (35科目)	-		0	72	0	10	6	0	0	0	
	建築・社会基盤学系											
	学系専門科目	建築・土木基礎製図	1後		1		1	1				
		材料基礎	2前		2		2					
		構造力学Ⅰ	2前		3		3					
		構造力学Ⅱ	2後		2		3					
		構造力学Ⅱ演習	2後		1		3					
建築応用力学		2後		2		1	1	1				
測量Ⅰ		2前		2			1					
測量Ⅱ		2後		2			1					
測量実習Ⅰ		3前		2			1					
建築・土木基礎実験		2前		2		1	2	1				
都市設計		3前		2		1						
鉄筋コンクリート構造Ⅰ		3前		2		2						
鉄骨構造Ⅰ		3前		2				1				
都市計画		3前		2		1						
福祉環境学		3後		2			1					
防災工学	3後		2			1						

2 授業科目の概要

<工学部 創生工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	建築・社会基盤特別実習	3後		2		1					
	地区設計	4前		2		2					
	小計 (18科目)	-	0	35	0	9	5	1	0	0	
専門教育科目	コース専門科目										
	建築計画Ⅰ	2前		2		1					
	建築計画Ⅱ	2後		2		1					
	建築環境工学	2前		2			2				
	建築施工	2後		2		1					
	建築設備	2後		2			2				
	建築設計製図Ⅰ	2前		2		1	1				
	建築設計製図Ⅱ	2後		2		2					
	建築設計製図Ⅲ	3前		2		2					
	建築設計製図Ⅳ	3後		2		1	1				
	建築法規	2後		2		2					
	歴史意匠	2後		2		1					
	建築CAD・CG	2前		1			1				
	木質構造	3前		2			1				
	建築基礎構造	3前		2		1					
	人間環境学	3前		2			1				
	環境デザイン学	3前		2			1				
	設備設計	4前		2			2				
	構造製図	4前		2		2	2	1			
	施工製図	4前		2		1					
	コンクリート材料	2後		2		1					
	土木計画	2後		2		1					
	土木史	3前		2			1				
	ランドスケープデザイン	3後		2							
	GIS	3後		1							
	建築構造力学	3前		2				1			
	建築材料	3前		2		1					
	鉄筋コンクリート構造Ⅱ	3後		2		1					
	鉄骨構造Ⅱ	3後		2				1			
	建築構造計画	3後		2		1					
	建築数値解析	3前		1			1				
	建築材料実験	3前		2		1					
	建築構造実験	3前		2		2	2	1			
	建築環境実験	3前		2			2				
	空間表現基礎	1前		1			1				
	空間デザイン原論	2前		2		1					
	住まいとインテリア	2後		2			1				
	空間構造デザイン学	3後		2			1				
	空間構成	3前		2			1				
	空間演出デザイン	3後		2							
	土質力学	2後		3		1					
	数値処理	2後		1		1					
水理学Ⅰ	2前		3		1						
水理学Ⅱ	2後		2		1						
地盤工学Ⅰ	3前		2		1						
地盤工学Ⅱ	4前		2		1						
土木構造力学	3前		2		1	1					
土木施工技術	3前		2		1						
一般火薬学と法令	3前		2			1					

## 2 授業科目の概要

〈工学部 創生工学科〉

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 科目	土木応用数学	3前		2		1						
	上下水道工学	3後		2								
	河川工学	3後		2								
	道路工学	3後		2		1						
	交通計画	3後		2		1						
	土木施工管理	3後		2		1						
	測量実習Ⅱ	3後		2			1					
	都市マネジメントゼミⅠ	2前		1		1						
	都市マネジメントゼミⅡ	2後		1		1						
	土木法規	3前		2		1						
	土木設計製図	3後		2		1						
	コンクリート実験	3前		2		2						
	水理・土質実験	3後		2		2						
	土木CAD	4前		1								
	小計 (62科目)	-	0	118	0	13	8	1	0	0		
合計 (374 科目)	-	10	708	4	41 37	36 44	3 5	2	0		教授昇格5・教授退職1・准教授昇格 2・新規准教授1・准教授退職3(23)	

(注)・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

・届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

### (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	369	2	374	3	369	2	374	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし(23)					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし(23)					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし(23)
----------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	0.00
届出時の計画の授業科目数の計	374		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	H22年12月売却			
	校舎敷地	61,567 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	61,567 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	93,109 m <sup>2</sup>	36,414 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	129,523 m <sup>2</sup>				
	小 計	154,676 m <sup>2</sup>	36,414 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	191,090 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	0 <del>-923-</del> m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>				
	合 計	154,676 m <sup>2</sup>	36,414 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	52,015 <del>-52,815-</del> (52,015m <sup>2</sup> ) <del>-(52,815m<sup>2</sup>)</del>	共 用 0 m <sup>2</sup> ( 0m <sup>2</sup> )	共用する他の 学校等の専用 0 m <sup>2</sup> ( 0m <sup>2</sup> )	計 52,015 <del>-52,815-</del> (52,015m <sup>2</sup> ) <del>-(52,815m<sup>2</sup>)</del>	教員宿舍等一部取壊し			
(3) 教 室 等	講 義 室	3 3 室	演 習 室 5 1 室	実験実習室 7 7 室	情報処理学習施設 6 室 (補助職員 1 人)	語学学習施設 1 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	創生工学科			185 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書等の購入・除却を した為	
	創生工学科	151,398 [151,398] <del>149,627 [149,627]</del> (28,425 [28,425]) <del>(28,235 [28,235])</del>	2,934 [2,934] <del>2,926 [2,926]</del> (2,489 [2,489]) <del>(2,525 [2,525])</del>	1,966 [1,966] <del>1,967 [1,967]</del> (1,966 [1,966]) <del>(1,967 [1,967])</del>	6,916 <del>-6,741-</del> 6,916 <del>-(6,741)</del>	82 (82)	0 (0)		
	計	151,398 [151,398] <del>149,627 [149,627]</del> (28,425 [28,425]) <del>(28,235 [28,235])</del>	2,934 [2,934] <del>2,926 [2,926]</del> (2,489 [2,489]) <del>(2,525 [2,525])</del>	1,966 [1,966] <del>1,967 [1,967]</del> (1,966 [1,966]) <del>(1,967 [1,967])</del>	6,916 <del>-6,741-</del> 6,916 <del>-(6,741)</del>	82 (82)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	3,763.27 m <sup>2</sup>		381		200,000				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	2,853.55 m <sup>2</sup>		なし						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	70 千 円	70 千 円	図書購入費	20,720 千 円	20,000 千 円	20,000 千 円	
	共 同 研 究 費 等	5,500 千 円	5,500 千 円	設備購入費	60,890 千 円	60,000 千 円	60,000 千 円		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,260 千 円	1,260 千 円	1,260 千 円	1,260 千 円	— 千 円	— 千 円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、手数料収入、資産運用収入、雑収入						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	足利工業大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学研究科 博士（後期）課程 情報・生産工学専攻	3	3	—	9	博士（工学又は学術）	0.11	平成8年度	栃木県足利市 大前町268番地 の1	
建設・環境工学専攻	3	2	—	6	博士（工学又は学術）	0	平成8年度		
工学研究科 修士課程							平成2年度		
機械工学専攻	2	10	—	20	修士（工学）	1.30	平成2年度		
電気電子工学専攻	2	5	—	10	修士（工学）	0.60	平成2年度		
都市環境工学専攻	2	5	—	10	修士（工学）	0.20	平成2年度		
建築学専攻	2	10	—	20	修士（工学）	0.55	平成2年度		
システム情報工学専攻	2	5	—	10	修士（工学）	1.70	平成2年度		
工学部								平成23年度 より募集停止	
機械工学科	4	—	—	—	学士（工学）		昭和42年度		
電気電子工学科	4	—	—	—	学士（工学）		昭和42年度		
建築学科	4	—	—	—	学士（工学）		昭和42年度		
都市環境工学科	4	—	—	—	学士（工学）		昭和48年度		
システム情報工学科	4	—	—	—	学士（工学）		昭和48年度		
大学の名称	足利短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
こども学科	2	100	—	200	短期大学士	0.61	昭和54年度	足利市本城3 丁目2120番地	
看護学科	3	50	—	150	短期大学士	1.00	平成8年度		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小小数第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況（抜粋）

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
37	41	5	2	85	4	41	36	3	2	82	5	
(42)	(36)	(3)	(2)	(83)	(5)	[5]	[△5]	[△2]	[0]	[△2]	[1]	

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<工学部 創生工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特記事項なし(23)	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

- a 委員会の設置状況：教務委員会(23)
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
  - ・ 委員会は、原則毎月1回定期的で開催されている。(23)
  - ・ 委員は、創生工学科の5学系の代表者（1名）と教養科目担当（共通課程）から1名が出席している。(23)
- c 委員会の審議事項等
  - ・ 教務委員会規程では、(1)教育課程の編成に関する事(2)学生の履修に関する事(3)授業日程等の編成に関する事(4)学科間（「共通課程」を含む。）の教務に係る連絡調整に関する事(5)その他教務に関する必要な事項となっている。教員の資質向上や教授法改善につながるFDについての審議は、(5)の中で実施している。(23)

#### ② 実施状況

- a 実施内容
  - ・ 新学系体制の授業概要と教育目標及び学生の履修方法等についての説明会（FDシンポジウムの中で）(23)
  - ・ 授業評価アンケート(23)
  - ・ 教員相互の授業参観（一部の教員が自発的に実施している。）(23)
  - ・ クラス転任のためのカリキュラム及び履修指導ガイダンス(23)
  - ・ AIT-VOICE（学生からの意見書）制度(23)

b 実施方法

- ・ F Dシンポジウムは、大講義室において終日（1日）実施する。(23)
- ・ 授業評価アンケートは、前期、後期の2回実施する。(23)
- ・ クラス担任ガイダンスは、3月末に実施する。必要に応じて後期開始前（9月中旬）に実施する。(23)

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ F Dシンポジウム及びクラス担任ガイダンスの教員出席は義務付けしており、殆ど欠席者はいない。止むを得ず欠席した教員には、別途学務課がガイダンスを実施している。(23)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケートの結果が思わしくない教員には、学長が個別に指導している。(23)
- ・ A I T - V O I C Eにより、授業や教育環境に関する意見には、教務委員会だけでなく学生指導委員会とも強調しながら問題点を改善している。(23)

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・ 本年度は初年度のため、全く結果が出ていない。所見は少なくとも1年度終了してからになる。(23)

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 平成25年7月1日 公表予定。（2カ年度の結果をもって中間報告とする。）(23)

b 公表方法

- ・ 自己点検・評価報告書を刊行し、教職員に配布する。(23)
- ・ 大学ホームページ上に公開予定（期日は平成25年7月1日 公表予定）(23)
- ・ 大学附属図書館において、不特定多数の希望者に対して自由に閲覧可能とする。(23)

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成25年度に評価機関（日本高等教育機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。